

平成 21 年

新 城 市 教 育 委 員 会

8 月 臨 時 会 会 議 録

新 城 市 教 育 委 員 会

平成21年8月新城市教育委員会臨時会会議録

8月7日（金） 午後9時00分 教育長室

出席委員

一番委員 馬場順一 二番委員 菅沼昌人 三番委員 中根正介
四番委員 筏津順子 五番委員 和田守功

委員以外で出席した者

教育部長 今泉敏彦
庶務課長 夏目道弘
学校教育課長 小西祥二
学校教育課 安形 博

議事日程

開 会

日程第1 協議事項

(1) 中学生韓国派遣事業について

議 事

開会 午後9時00分

委員長

急遽臨時の教育委員会会議をお願いしました。よろしくお願いします。

日程第1 協議事項（1）中学生韓国派遣事業について

委員長

協議事項中学生韓国派遣事業について事務局から説明をお願いします。

学校教育課長

中学生の韓国派遣事業が目前に迫っているのですが韓国からの連絡で状況が変わってまいりましたので、今日ここでご協議をお願いいたしたいと思います。担当の安形の方から説明をいたしますのでよろしくお願いします。

安形副課長

韓国派遣について、今までの経緯と現状の概要をまとめさせていただきました。6月末からホームステイとか交流とかの準備のために大邱市慶北大附設中学校のパク先生とやりとりして、準備をすすめてまいりました。しかし7月31日にパク校長先生からファックスが届きました。新型インフルエンザの流行に伴って、感染を防ぐために予定していた行事を取り止め、また、ホームステイの受け入れを予定していた保護者が子供の健康上のこととかを含めて責任を取れない状況にあるので受け入れを断念したいという要望が校長先生にあったということがファックスで伝えられました。その日たまたま韓国派遣について学習会を開催していましたので韓国語講師のイ先生がお見えになりましたので国際電話でパク先生と話をしてもらいました。新型インフルエンザの日本の状況については、5月頃と比べて弱毒性ということが明確になって対応も変わりつつある。そのようなことを伝えていただきました。新城市では感染者は出ていないこと、派遣生が4月から作文に始まり数ヶ月間準備を進めてきたこと等を基に、再度前向きに考えてもらえないだろうかという要望を伝えてくださいました。

そして、昨日8月6日にメールが届きました。大邱市ではH1N1型インフルエンザが流行し集団感染も発生している。パク校長先生は当事業に係るすべての人の健康と安全を最優先し今年度については、交流を行わないことを決断した。正式には今週末までに校長から教育長宛の文書を送付するという。今日ファックスが届くと思います。

新型インフルエンザに関することを述べさせていただきます。大邱市慶州において流行している。半島の東側で流行しているというような話です。大邱市においては新型インフルエンザの影響により行事中止、学級閉鎖等の措置がとられている。日本における新型インフルエンザの状況があたえた影響も大きい。日本の感染が韓国よりも酷いというような思いを韓国の方が持っているということが考えられます。われわれが5月頃メキシコからの渡航者とかに危惧を抱いたように、韓国の方は日本人が韓国にやってくるのを文書には書いてありませんが同じように思っているという情報も得ました。インターネット関連の報道では機動隊員122名中18名が新型インフルエ

ンザに感染し隔離されている状況にある。釜山の小学校では77名が感染、韓国全体では日本と比べると少ないと思いますが1618名が感染、現在276名が療養中であるという状況です。その反面ソウル市内のホテルにおける部屋の稼働率は5、6月頃は56パーセント、8月今に至っては70パーセントに上昇している。そのような状況でそれほど新型インフルエンザの影響というのは現在ソウル市内では見うけられないというところであります。

学校教育課長

今のような状況ですので、この後ご検討をいただくうえでいろいろな選択肢が考えられようかと思いますが、その方向性をお示しいただき事務局で対応させていただこうと考えていますが、明確な提案を持っていませんので私見も含めながら、ひとつは受け入れ側が受け入れられないのでやめるという選択肢もあろうかと思いますが、今回18名の中学生の代表を選んで学習してきた中で、初めて海外渡航の経験を持ったものもいます、今回中学生との交流というのがこの事業の価値であると思いますが、それが実現しないということで、価値が半減される訳ですが、海外に行ってきた価値は残ると思いますので内容を修正して実施する価値もあるのではないかと思います模索はしていますが時期が迫っていますのでどこまで変更が出来るかということと、交流がありませんので学習してきたものを発表する場が無いということですので変更して実施するにあたって発表する場について模索する必要があるかと思います。明確な代案をお示しできない緊急の状況の中で恐縮ですが、検討をいただきたいと思います。

委員長

これまでの説明で質問はありますか。場所・内容を変更してといわれましたが、これは旅行社の方で対応できそうですか。

学校教育課長

今の段階で考えられるのは、日程について25日出発し29日に帰国するスケジュールの中でホームステイが2泊あった訳ですが、それをやめて27日帰国するスケジュールに変更する日程を組めば、帰国する便はソウルになると思いますが、大邱市周辺を変更し比較的感染度合いの低いソウル近郊でのスケジュールを組めば可能性は高いと考えます。

委員長

議会で認められた行事だと思いますが、その趣旨を逸脱するようなことにはなりませんか。趣旨を逸脱しない計画は組めますか。

学校教育課長

この事業のポイントであります交流がなくなりますので、それに変わるものを模索した中で、本事業の趣旨として代表の子供たちが海外渡航して得たものを活用して学校で活躍する場は縮小した場合でものではないかと考えます。学校という場ではないですが子供たちが学習してきたものを示す場というものを、ロータリーの協力を得て設定できれば可能かと考えます。

委員

プリントの中で年というのは12月までのことですか、年度のことですか意味合いが違ってくると思いますが。

安形副課長

向こうの意図するところは、11月、12月に韓国からも派遣をされてきますが、これを含めてということで年度として捉えていただければよいと思います。1月に入ってしまうと受験シーズンということで双方とも実際の交流は難しいということがあります。

委員

ただ中止ということは、頑張ってきた中学生たちに落胆を与えるし、中断ということは今後の事業に支障を来すことになると思いますので、継続する形だと思うわけですが、行き先は韓国でなくてはいけないのですか。

学校教育課長

事務局の考えとしては、当初の日程をベースに修正するという事で、行き先等の変更は考えていませんでした。

委員

変更の可能性、見直しはあるのですか。皆目無いのですか。

安形副課長

昨日、旅行社に確認したところ行きの便は問題ないですが27日の帰りの便についても席を調整すれば可能だけれど週を明けると分からない状態になるので、今日までに連絡をいただければ可能な限り調整をしますということでした。

委員

交流の考え方ですが、作手中学等をみてみますと生徒と生徒、教員とか、親も含めての交流とか、中学校に来てもらい話を聞いたり、スポーツを行ったり、会食になると親も含めて給食とか、後はホームステイになる訳ですが、今の交流が出来ないということは学校の中で交流が出来ないという意味なのか、18名の子供たちが韓国の全生徒との交流は不可能ですが、この子達の経験をさせてあげることが目的だと思いますが、そういう場合に学校の方で出来ない場合でもホームステイ等により韓国の人たちの考え方とか習慣とかを知ると、日本のことも相手方へも伝えることも立派な交流だと思いますが、今言われていることは学校単位で今までやってきた交流をイメージしたのですか。

学校教育課長

ここからの状況で別のところを用意する変更は出来ないと考えます。向こうからいただいたメールではホームステイという状況が日本から行った子供たちを受け入れて安全を保つことが出来ないということなので、子供たちが事前に学習したものを披露する場、韓国の子供たちとスポーツとか会食をする場とかを設定できないか探る必要があると思いますが、まだ具体的にはアプローチは出来ませんのでこの場で確実だと

お答えできる準備はしていません。

委員長

7月31日のファックスで学校主体の集団行動はすべてが中止となっていますので、あまりそういう模索はしないほうが良いと思います。

委員

この学校はそうであっても他の地域なら分からない。国の方針で出ている訳では無いし、他の中学がすべてそうかは分からない。

委員長

確認しなければいけない。

委員

可能ならば私は実施したほうが良いと思います。

委員

このままの形ならば中止するしかないと思います。バク校長先生が決断して教育長宛に今年度は中止にしましょうと言ってきているのにもかかわらず、この形でお願いするのはありえないと思います。結果的に何も無いかもしれないけれど、向こうの強い決断を乗り越えてまで派遣することは、確かに子供たちや関係者が色々学習や準備したことは分かりますが、この形では無理だと思います。別の日程・韓国内の受入れ先等の都合が付けば別ですが。こちら側も中止を決断するしかないと思います。

委員

論議の進め方として、新城市の教育委員会も相手側に合わせて今年度の計画は中止とするというのと、別の代案を模索して実行するのか確認した方が良いと思います。

委員長

前に進みませんので、中止するのか別の代案を模索して実行するのか確認したいと思います。

委員

飛行機のキャンセル料はどれほどですか。

安形副課長

時期により大幅に違うと思います。

委員

中止にすると相手側から打診されそれを振り切ることは、心情的にまずいものがあると思う反面、中身を大幅に変え可能であれば日程も遅らせて実施すれば余裕が出来てホームステイは無理かも知れないが、交流する相手も見つかる可能性も高くなると思いますが日程的に変更することで不都合が生じるかお尋ねします。

教育長

31日夕方のファックスで今年度は中止にさせていただくという形でできましたので、そのような一方的な通知のみで市の方針は変えられませんので改めて再度実施する方向で打診しました。新城市では発生していないこと、行くにあたっては、最大限

防御対策をとって行くこと、日本の新型インフルエンザ対応の状況をファックスで伝えました。その結果、改めて校長の意向は中止ということでしたので、慶北大附設中学校の最高責任者である校長の決断は、やはり尊重しなければなりません。本年度の慶北大附設中学校との交流はないという前提で考えていきます。

そこで、海外派遣の事業の目的は、「近くて遠い国である韓国の歴史・文化・風物を学ぶ」もう一つは、「同世代の中学生を通して親善を図る」という2つの目的があります。ですから日程も4泊5日のうち2日をホームステイ、2日を歴史文化の研修となっております。2つの目的に対して一方の大義名分が無くなった訳ですが、この派遣事業に応募した中学生の前向きな姿勢、研修努力というものを考えたときに片輪になった目標で実施する価値があるかどうか、失った片輪を補完する事業が可能かどうか。この2つを極めて限られた時間の中で方向付けが出来たならば行くという決定を下したい。

新型インフルエンザについては、日本においても韓国においても感染する可能性があります。豊橋市等においては集団感染も発生しています。日にちも迫っていますので週明けには教育委員会の方向付けを持って保護者説明会を設けて保護者に諮って、様々な制限・リスク等を伝え保護者の意向も受けとめたいと思います。

一つの情報として、今ボーイスカウトの愛知県連盟60周年の記念大会が市内の吉川野営場で行われていますが、そこに韓国ソウルの小中学生百数十人及び大人も20人近くが新城市に来ています。その団長さんと話したところ、ソウルでは新型インフルエンザも若干でているという程度で、韓国の大邱市周辺、東のほうがやや感染率が高いということでした。

委員長

当初の計画は無理ですが、代案が間に合うかどうかということですね。間に合わない場合は止めざるをえない。

委員

日程的にボーイスカウトの人たちは、こちらの中学生と交流はできないですか。

教育長

ボーイスカウトのスケジュールの中で動いています。今どのような活動をしているかという愛知県の各種団体が多数ある訳ですが、ここに来る前に2泊3日ホームステイをして、吉川野営場で4泊5日ほど活動する予定だそうです。

ボーイスカウトの活動の中でスケジュールがあいているかどうかです。ソウルの子供たちは、それぞれの師団の中に数名ずつが入り込んでいる状況です。交渉すれば不可能ではないと思いますが、向こうのスケジュールを聞いてみないと分かりません。

委員

それが可能ならば、仮に韓国で交流が出来ない場合でも意義はあると思います。まったくなくなるよりはよいと思います。

委員

主旨が外れてくると思います。ボーイスカウトは学校とは別の組織ですし。先程の報告では往復の飛行機は確保出来るということなので変わりの受け入れ先等心当たりはありますか。

学校教育課長

韓国も夏休みですので、この時期に他の学校を探すのは困難と思われれます。それを考えますとロータリーのつながりがあるものですから、今回も交流の場に来ていただけるようになっていましたので、ロータリー経由で韓国のロータリーのご家族を通じて人を集める方法もひとつの選択肢としてあるのかと思いますが、そういうものを探って日程に組み込めれば片肺になるところを補えると思います。それが不可能でも片肺でも意味があると認めていただければ3日間でも実施したいと思います。

委員

大邱市慶北大附設中学校のバク校長先生にこちらの思いを伝えて理解を得ることが重要だと思います。保護者を集めて意見を伺うというのは進め方としてはそうかもしれないが収拾がつかなくなる恐れがあると思いますので、教育委員会が行く行かないの判断をして保護者に同意を求める方法のほうが良いのではないかと思います。

委員

保護者からいろいろ心配する意見が出るとと思いますので、韓国内で行き先を変えるところかしたほうが良いかもしれません。

教育長

一番肝心なことは子供たちの安全で、日程・行き先を変えることで安全を担保できるかどうかということで、これが出来れば保護者も納得されると思います。

委員

具体的な代案があれば我々も考えられますが、これからやってみないとわかりませんでは、保護者に説明出来ないと思います。ロータリーといっても分からないし、もっと極端なことを言うと、これまでの子供たち・関係者の努力は分かりますけれど、そこまでしてやることなのかと思います。何も韓国に行かなくても出来るような方法、向こうから先生を呼んできて子供たちに話を聞かせるとかやり方はあると思います。現地に足を踏み入れて自分の目で見ることは大事ですが、他にやりようが無いのかと思います。ホテルへ行って名所旧跡を見て帰ってくるだけでは、これだけ危険性についてバク校長先生が言ってきた中で、万が一何かがあったらバク校長先生に説明がつかないと思います。

委員

今日の時点では、行く行かないの判断を教育委員会で決定してもらわないと前に進めません。この事業の趣旨をあまり逸脱してしまいますと市議会を通してということもありますので、現地に行って色々なものを見て学ぶということは大切なことで、日本にいてということになると趣旨が変わってきます。出来ればこの線で行っていただけたらと思います。行き先を変えるとか、交流については最大限追究するとか、学校

は無理でも部活動を行っているところとか変更してでも行く行かないの判断を下して、その後色々やってもらったうえで、このように実施したいと保護者に伝えるようにしたほうが良いと思います。

行くと決意した親子ですので行き先が変わった程度では異議は出てこないと思います。出た場合は仕方ないのでその子供さんは欠席ということでどうでしょうか。

安形副課長

中学生同士の交流が一番重んぜられて当然だと思いますが、私たちがこれまでやってきた附設中学校の生徒との交流、バク先生がそれを断念がされたということ、他の学校と交流するということはバク先生、附設中学校の関係者にとってあまりうれしい感情を持たないと思います。

交流を求めて、他校の中学生がいるから他校と交流をするというのでは、良くは受け止めてもらえないと思います。

委員長

本来なら向こうがどこか紹介してくれば良いと思う。

委員

これからも継続してやらなくてはならないので、今年はインフルエンザで出来ないけれど来年度以降もっと充実させていくとなると、先ず向こうの理解を得てやらなくてはいけないと思います。やれるのなら学校をはずして、それ以外の日程の組み換えが可能かということをお願いけれどやってもらって、形が出てくれば近々に教育委員会会議を実施して決めてはどうでしょうか。

先程の日本国内でやるのは趣旨が違うということですが、これまで18名の中学生が一生懸命やってきたのに、何かやってあげなくてはかわいそうだなという思いからです。できない場合の対応ということを次のステップとして考えなくてはいけないと思います。教育委員会として生徒に対してケアが必要だと思います。

委員

交流の組み換えというのは、中学生以外の人たちとの交流ということですか。

委員

中学生との交流、ホームステイも難しいとなりますと、選択肢としてロータリーという会社単位の中で工場を見せていただくとか、どういうアイデアが出てくるか分かりませんが、子供たちとの係わり合いは出来ないと理解した方が良いと思います。ほかで片肺の部分をついに充実したものになるかが重要だと思います。

委員

中学生との交流も非常に大事なことだと思いますが、日本においても企業訪問等は勉強になりますので、現地の企業を訪問して、日本の企業との相違を感じるのも意義があることだと思います。子供たちとの係わり合いのない部分を代替案としてボーイスカウトで来ている人たちと交流することは韓国語を勉強してきたことを考えても意義があることだと思いますので同時進行で検討していただきたいと思います。

委員

今まで交流してきた中学校には、今年度の交流は断念するけれど、出来れば他の中学校を紹介してもらえないかと打診をしてみたらどうでしょうか。

委員

附設中学校というのは、公立ですか私立ですか。

安形副課長

国立大学の附属中学校です。

学校教育課長

先週末にメールを送って返事が来たのが1週間後です。夏休み期間中ですので先生間でも連絡に時間がかかっている状況ですので、時間が切迫してきていますので打診については時間的に困難と思います。形を変えて実施するとなった場合には敬意を表して事情を説明しますが、相談をかけることは困難と思います。ですからこちらで代替案があるかどうか考えていただきたいと思います。

教育長

附設中学校及び大邱市周辺は行かないという前提でいきたいと思います。あくまでも韓国の西部方面ソウル市周辺ということでお願いします。

吉川野営場に来ているボーイスカウトの人と話したとき、ソウル市のイースー中学を知っていますかと尋ねたところ知っているということでした。引率の方は先生出身の方が多数お見えになります。韓国では多数の生徒もボーイスカウト活動をしているとのことでした。

筏津委員さんの言われたボーイスカウトの方たちとの交流も方向性が決まれば余地があるかどうかの交渉は出来ますし、イースー中学に行って、学校施設の見学等は交渉できますし、企業等の見学についても可能ではないかと思います。できうる限りの可能性を追究します。そうしますと限られた時間の中ではソウル周辺となります。あとは南の方に下がって、プヨだとか百済とかは日帰りコースですので日程を組むことは可能です。

委員

イースー中学とは作手中学が交流していたところですか。

教育長

昨年まで交流していたところですよ。

委員

話は着きますか。

教育長

分かりませんが交渉は可能だと思います。

委員

県教委には特段相談する必要はないですか。

教育長

9. 11の時はテロですので県教委から指示がありましたけれど、新型インフルエンザについては「海外における流行状況に留意し、感染予防及び拡大防止に努める」こと以外に具体的に指示はありませんでした。無いということは当初は強毒性ということで渡航注意等の指示があったわけですが、季節性インフルエンザ並みの扱いになってきたということです。

委員

ここだけで言っても埒があかないので、具体的な動きに繋がるロータリー等に相談してみてもどうですか。

教育長

大邱市のヨンナンロータリーが相手ですから大邱市に行かない場合は、いかがなものかと思います。

委員長

新型インフルエンザはパンデミックになっている訳ですね。外務省等の措置はないですか。

教育長

渡航制限等の措置はありません。日本国内においても感染する可能性は高いです。

委員

保護者及び議会に対し説明することも考慮して、あらゆる手段を尽くして方法を探ることをしていただきたい。

委員長

今日出せる結論としては、日程は動かすことは出来ません。

教育長

中を抜かすことは可能です。

委員長

枠の中で場所とか内容を変えて出来るかどうか検討してみるという結論しか出せないですね。出来ればこういう方法が考えられるということになれば、緊急の教育委員会会議を開催していただくことになると思いますが、学校とか子供の都合もあるだろうし団長にも来ていただければよいと思います。

教育長

決まったことは附設中学校及び大邱市周辺は行かないということ。行かないけれど日程的には、コース等を変更して新型インフルエンザとは関係の薄い場所で、片輪にプラスアルファをやって行くという方向にするかどうかを決めていただければ、コース等はすぐに決まると思います。行くという方向に決まらないとさまざまなものが決定できない状況です。時間が切迫していますので次の会議に持ち越すのは困難だと思います。決めていただければどんどん進めていけると思います。

委員

組み換えが今すぐにでも出来るということですがどう出来るということですか。

教育長

中2日の附設中学校との交流日程を抜いて、4日目、5日目にあたるところでソウル市近辺の歴史文化施設等を見学することでできると考えます。それより帰国の中部国際空港着の飛行機の便が取れるかどうかが問題で、韓国内の移動については可能だと思います。

委員長

交流は無でということですか。

教育長

交流の可能性は追究しますが、結果として交流は無ということもありえます。

委員

子供との交流は無しという前提で考えなくてはいけないですね。そうすると片肺の方を考えなくてはいけないですね。

教育長

どのような有意義なコースを取るかということです。

委員

見学以外に何かありますか。

教育長

学校参観とか工場見学とか出来るかどうかを探り手を打っていく。ソウル市内とその近辺で交渉を進めていくということです。夏休みですのでかなり厳しい状況ですが、やると決まれば、どんどん可能性を求めることができますが、決まらなるとすべてが手を打てない状況になりますし、手を打っても仮にとということになってしまいます。

委員長

今日は実施するかどうかの結論をだせということですか。

教育長

そうしていただければ、ありがたいです。

学校教育課長

全面的に無しであれば無ですし。日程を短くしてやるのであれば組めますし、それではということになれば中止ということになります。

委員長

韓国派遣の趣旨に外れるかどうか確認できないことには、実施するかどうか結論を出しにくいと思います。

委員

中止なら中止でも止むを得ないが、どうすれば出来るかということで検討していますので、行うということを前提に大至急手を打って、短縮するところはこのように短縮するという案を作っていただいて、できそうであれば早急に会を開催していただいて決めるということはどうでしょうか。

委員長

実施することを前提に、ホテル等を押さえるということですか。

委員

一応原案を見てからだと思いますが、中2日間を抜くのは物見遊山になってしまわないか危惧しています。そうしなければ出来ないということになれば、それに變更してでも実施するというにすることはどうでしょうか。中学生が今まで韓国語等勉強してきて、中止になった場合ショックが大きいと思います。こちらもそのショックに対し誠心誠意実施する方向で、いろいろ調査研究して実施する。出来ないものは出来ないとはっきりとした結論を出すということはどうでしょうか。

委員

実施するというようになった場合飛行機の便を押さえる為に早急に結論を出した方が良いと思います。

委員

最初の日程で行き先等を変更して実施するのが一番良いと思います。

安形副課長

中2日はホームステイになっていますので、その2日をホテルで宿泊とかにしますと、食事等含めてかなりの支出増になります。実際に27日になった場合、25日に着いた午後、板門店等を見学して、26日は韓国語教師のイ先生が推薦していただいたミンソク村等、韓国でしか体験できない行程を考えて、交流は2泊3日ということもあって、難しい状況にあります。実際に3日目は12時40分発の便になってしまいます。無理を言って中部国際空港に21時に着くという便も取れないことはないということでしたが、新城に着くのが23時になります。これは中学生にとってはあまり良いことではないと思ひまして12時40分発の便ということで今日返事をする事になっています。

教育長

ソウル市周辺しか移動が出来ないですね。

安形副課長

釜山に行くまでがロスになってしまいますので。

委員

2泊3日というのは、どこから出た話ですか。旅行社の提案ですか。

学校教育課長

ホームステイ分をホテル宿泊にしますと、支出が増加しますのでその部分をどこでみるかという保護者の負担になる訳ですが、この時点での負担増は話が違うということになってしまうので、今の費用の中でやれるというのは日程を短くして行うということになります。飛行機の便が取れるということで27日の提案になったということです。

委員

保護者からの負担金はいくらになるわけですか。

安形副課長

1人2万円いただいています。

教育長

昨年度から一部負担金としていただいています。

委員

5日間は無理だと思います。やるのであれば3日間と決めて行うしかないですね。

委員

費用の面で増額することは出来ないですね。3日目12時40分発の便ですと実質1日半になってしまいますね。夕方の便があればよいですが。

委員

中学生の母親としての意見ですが1日半では短いので新城23時着の便でも保護者は不平は言わないと思います。いろいろ経験してくれた方がうれしいと思います。

委員

反日的なものばかりを見るよりは企業等の見学を行うほうが物見遊山にならなくて良いと思います。

委員

新城23時着の便では、家に帰るまでまた1時間かかります。無理してでも遅くした方がよいですか。

委員

12時40分発の便ですと昼に帰ってくるようになります。それではどうかと思います。

委員

2泊3日で実施する方向で考えるということで、色々手を打ってもらったらどうでしょうか。

予定の場所とかは変更できるということですか。帰りの便はどうするかということを決定しておかないと交渉できないでしょう。

教育長

ソウル発20時45分発の便は取れますか。

安形副課長

何ともいえない状況だと思います。参加人員は教員3名で合計21名です。

教育長

3泊にするのは難しいですか。

安形副課長

予算面で難しい状況です。食事等もありますので。

委員長

旅行社から何か良いアドバイスはないですか。

安形副課長

昨日状況を説明したところショックを受けていました。そこまでまだ対応していただいてはいません。

委員長

2泊3日で短縮する形で実施するというので早急に検討し手配するというのでよいでしょうか。

教育長

3日目については、飛行機の便が取れさえすれば目いっぱい時間をとる方向で行くほうが良いでしょうか。

委員

12時40分発の便ですと昼間でもあり、保護者が迎えに困る場合があると思います。

委員

その日程の中で何が出来るか、議会に対しあえて行く説明が出来るようなものにする必要があります。

教育長

イーサー中学の施設見学が出来るよう手配出来るといいですね。

安形副課長

手配いたします。

教育長

向こうに迷惑がかからない範囲でお願いしてください。産業経済の分野で何か一つお願いしてください。ソウル大学の施設内見学は出来るのではないですか。

委員

名所旧跡よりは良いかもしれませんね。それと出発前と後の健康管理はしっかりやっていたきたいと思います。

教育長

自分の健康について、毎日記録を取るなど徹底的に行ったほうが良いでしょうね。ボーイスカウトの方はどうでしょう。

委員

せっかくの良い機会なので出来れば交流した方が良いでしょう。

教育長

閉会式が8月9日ですので、後3日間しかありませんので、子供達に呼びかけるとしても厳しい状況かと思えます。子供達は何も知りませんので。団長のみ知っている状況ですので。

委員

団長の意向は知っていますか。

教育長

団長は今まで学習して来ましたので、行きたい意向であります。ボーイスカウトに

については、先方の都合もありますし、中学生達が集まれるかどうかも分かりませんので、難しい状況だと思います。

委員長

今後の方向性も見えたと思いますが、他に確認することはありますか。

学校教育課長

27日の帰国の便を確保してその中で日程を組ませていただく訳ですが、その後で集まって協議していただくことはどうでしょうか。

委員

今日論議したものをまとめていただいて、それが全て同意され手配できれば集まる必要はないと思います。

学校教育課長

確認事項ですが、1点目、当初の日程は実施しない。2点目、25日出発27日帰国の2泊3日の代案で実施する方向で考える。27日の帰国便については夜遅い便に変更する。2泊3日の中身については、ソウル周辺で議会説明が出来る内容で日程を組みなおし学校見学とか、企業訪問とかを盛り込み単に名所旧跡を訪れ文化にふれるということのみに終わらないように、人との交流が出来ないものになるアカデミックな部分を加え案を作る。以上です。

教育長

27日夜の便が取れなかった場合はどうしますか。

学校教育課長

昼の便しなくなってしまうので、その中で検討するということになります。

教育長

今日中に決まったものを委員長さんに連絡し、その結果再度協議するかどうか決めていただく。保護者会開催の連絡も今日中に行うこととしたいと思います。

委員

今の方向で決まれば、集まる必要はないと思います。

教育長

今日、各方面に手配して、その報告を行うとして、それを受けて、今後の展望を図り保護者会の通知を7日午後出し、盆前12日に開催し了解を得るという方向で進める。今日の夕方の段階で必要があれば委員長さんの判断で教育委員会議を開催するかどうか決めていただく。ファックス等の状況で個々にご意見を伺うだけでよければファックスを流すという形で対応したいと思います。

委員長

以上で、本日の臨時教育委員会を終了いたします。ありがとうございました。

閉会 午前10時35分

委員 長

委 員

委 員

委 員

教 育 長

書 記